



子どもたちが“楽しかった”と思える運動会に

朝晩は涼しさを感じられ、身体を動かすのに、気持ちの良い時期になりました。今年の運動会は0～5歳の子どもたちが一同に会します。まみころ会の運動会係の方々を中心に、保護者が参加する二部の準備をしてくれています。

大人が一生懸命に身体を動かす姿、楽しんで運動する姿を見せることは、子どもたちにとっても楽しいものです。大人の明るい姿は子どもたちに明るい未来を届ける力になると思っています。みんなで楽しみましょう。

子どもたちが行う運動会の一部は、日々の保育の通過点として実施しています。半年間、乳児の子どもたちは、ハイハイだった子が歩けるようになったり、よちよち歩いていた子がどンドン歩けるようになったり、日頃気づきにくい身体の成長が感じられます。

幼児になると、個人の種目に向かって日々、運動遊びを楽しみます。また、年中・年長で行うリレーでは、何度も勝負や話し合いを重ねながら、どうすれば勝てるのか？グループ毎に知恵を絞ります。その話し合いの過程で、仲間を知ること、仲間と力を合わせる等の心の育ちを大切にしています。

私たち保育者も子どもたちが運動会を楽しめるように関わっていきますが、子どもたちにとって何より心の支えになるのは、保護者の皆様の温かい眼差しです。運動会を発表の場と捉えると“できる”“できない”に目を向けたくりますが、乳幼児期は結果よりも、“今はまだ、この時期なんだな”と捉えると、一生懸命な姿そのものが愛おしく思えます。

種目に向かっていく間や終わった時には、我が子の姿そのものを認めた声掛けで受け入れてもらえると嬉しいですね。子どもたちは、受け入れてもらえたことで“運動会が楽しかった”と思い出になり、日々の保育で“もっと運動を楽しみたい”と様々な事にチャレンジする心が育まれます。

<運動会写真・ビデオ撮影について>

運動会当日は、保護者でない専任の撮影係に依頼しています。カメラ、ビデオ、スマホ等での撮影はできません。 ・写真は後日販売いたします。 ・ビデオは業者が撮影し、後日DVD販売いたします。

子どもたちが、温かい雰囲気と多くの眼差しの中で種目に挑戦し

保護者の皆様の心に残る運動会となるよう、ご理解・ご協力よろしく願いいたします。

子どもたちの願いが叶う活動を

年長児がお泊り保育に向かう中で、架空の人物から手紙が届くことに憧れを持っていた年中児。ある日、年中児にも年長児とは違う架空の人物(むした)から手紙が届きました。そこには『夜8時まで遊べるよ』という内容が書かれていました。

夜まで保育園で過ごすことに心配になる子どもたちもいましたが、みんなで話し合いながら「お風呂でチョコ食べる。アイスを食べる。」「夕飯は、ピザがいい。」「カレー食べたい。」「たこ焼きパーティーをしたい。」と、楽しいことを考え、それができるように取り組みました。

担任は子どもたちの願いが叶うように、お風呂はプールにしよう、夕飯は3つのグループでそれぞれ作ろうと考え、夕飯を作るために給食職員と相談して準備を進めました。

当日は、神社にむしたを探しに行ったり、夕飯を作って食べたり、花火をしてお風呂で美味しいものを食べて楽しみました。最後は、きしゃぽっぽからひよこ組まで、グループ毎に職員と一緒にむしたからのプレゼントを取りにいきました。

自分も怖い気持ちなのに、怖がる仲間の手をつないで勇気づける子、一人ずつ記名された紙袋に入ったプレゼント(天狗下駄)を仲間の分まで探す子がいて、仲間関係が深まっていることを感じました。

まつのき保育園では話し合い活動の中で、一人ひとりが自分の気持ちを表現し伝え、みんなで考えた願いを叶えることを大切にしています。それは、乳幼児期に相手へ思いを伝えること、みんなで楽しい経験をすることが、生きる力になると考えているからです。

これからも、子どもの心からの願いに応えながら保育をしていきたいと思っています。



【今年の夏、最後の手持ち花火】